

# 広域バスシステムのあり方検討 ワークショップの進め方

---

別紙3で使用するファイル(ワークシート用データ)

- ・ ワークシートIV\_広域バスシステムのあり方検討.xlsx

## ①参加者について

- 可能な限り広域バス系統の**関係者全員に参加してもらう**
  - 都道府県、沿線自治体、運行事業者**
- ワークショップ開始前に議論の進行とまとめ役として**ファシリテーター**を決める
  - 実際の議論を想定して、都道府県や沿線自治体の代表者をファシリテーター**にすることが望ましい

## ②ワークショップの事前準備

- 1つのテーブルで関係者全員が座れるように座席を配置する**
- 以下のものを印刷して用意する**
  - ワークシートⅣ(A0サイズ等大き目に印刷する)
  - 「行ける行けない表を用いた系統の機能整理ワークショップ」の結果
    - ・前回のワークショップでまとめたワークシート「Ⅰ：行ける行けない表」や、「Ⅱ：対象系統の機能整理とまとめ」を用意する(別紙1で行ったワークショップの結果)
  - 幹線分析シートを用意(別紙2を用いて、できれば作成する)
    - ・主催者側もしくは、関係者間で幹線分析シートを作成して用意する
  - 付箋、ペン

はじめに：各グループで発表の代表者を決める

1. 対象系統の課題を付箋に記入(約10分)
2. ワークシートに課題を記入した付箋を分類して貼り付ける
3. 課題の多い項目から、課題に対しての施策を付箋に記入
4. ワークシートに施策を記入した付箋を分類して貼り付ける
5. 発表に向けてのまとめを行う(約20分)

繰り返す(約60分)

# 1. 対象システムの課題を付箋に記入

各グループの対象システムについての課題を、種類にとらわれず、思いつく限り記入する  
(記入時間10分間)

●●を經由  
しないため  
日常利用が  
しづらい

運賃が高い

△△線との  
接続が悪い

日中の利用が  
少ない



## 2. ワークシートに課題を記入した付箋を分類して貼り付ける

1で記入した付箋を、**ファシリテーター**を中心に、ワークシートの「対象システムの課題」①～③の欄に分類して貼り付ける

●●を經由しないため  
日常利用が  
しづらい

運賃が高い

△△線との  
接続が悪い

日中の利用が  
少ない

**分類して  
貼付**

ワークシートIV: 広域バスシステムのあり方検討

	対象システムの課題	施策の方針
① 対象システムの課題		
② 対象システムの利用促進 (運賃、沿線施設との連携、分かりやすい情報提供等)		
③ 別のサービスへ 再編・転換 (路線の分割・フィーダー化、並行する他の公共交通の活用、デマンド交通化等)		

まとめ(幹線分析シート 5. 今後の取組方針に対応) 施策の取組主体別に今後の取組方針を整理

運行事業者の取組	
沿線自治体の取組	
都道府県の取組	

### 3. 課題の多い項目から、課題に対しての施策を付箋に記入

2で分類した課題に対する施策の方針を付箋に記入する(課題の多い項目から)

ワークシートⅣ：広域バスシステムのあり方検討				
システムのあり方検討項目	対象システムの課題			施策の方針
①現状システムの改善 (運賃、経路、頻度の変更等)	.....	.....	.....	
②現状システムの利用促進 (運賃割引、沿線施設との連携、分かりやすい情報提供等)		.....	.....	
③別のサービスへの 再編・転換 (路線の分割・フィーダー化、並行する他の公共交通の活用、デマンド交通化等)		.....	.....	
まとめ(幹線分析シート 5. 今後の取組方針に対応) 施策の取組主体別に今後の取組				
運行事業者の取組				
沿線自治体の取組				
都道府県の取組				

一部便で●●を  
経由する検討を行う

他路線との  
接続を考慮  
したダイヤの  
検討

課題に対する施策の  
方針を記入  
(課題の多い項目から)



# 4. ワークシートに施策を記入した付箋を分類して貼り付ける

3で記入した付箋を、**ファシリテーター**を中心に、ワークシートの「施策の方針」①～③の欄に分類して貼り付ける

ワークシートⅣ：広域バス系統のあり方検討

系統のあり方検討項目	対象系統の課題			施策の方針
①現状系統の改善 (運賃、経路、頻度の変更等)	.....	.....	.....	
②現状系統の利用促進 (運賃割引、沿線施設との連携、分かりやすい情報提供等)	.....	.....		
③別のサービスへの 再編・転換 (路線の分割・フィーダー化、並行する他の公共交通の活用、デマンド交通化等)	.....	.....		

まとめ(幹線分析シート 5. 今後の取組方針に対応)      施策の取組主体別に今後の取組方針を整理

運行事業者の取組	
沿線自治体の取組	
都道府県の取組	

一部便で●●  
を経由する検  
討を行う

他路線との  
接続を考慮  
したダイヤの  
検討

分類して貼付

分類後、残りの項目に  
対して3～4を繰り返す

# 5. 発表に向けてのまとめを行う

ワークシートのまとめ欄に、3～4で分類した施策についての「**運行事業者**」「**沿線自治体**」「**都道府県**」それぞれの取組方針を記入し、発表に向けてのまとめを行う

ワークシートⅣ：広域バス系統のあり方検討						
系統のあり方検討項目	対象系統の課題			施策の方針		
①現状系統の改善 (運賃、経路、頻度の変更等)	.....	.....	.....	.....	.....	.....
②現状系統の利用促進 (運賃割引、沿線施設との連携、分かりやすい情報提供等)	.....	.....		.....	.....	
③別のサービスへの 再編・転換 (路線の分割・フィーダー化、並行する他の公共交通の活用、デマンド交通化等)	.....	.....		.....	.....	
<div> <div>まとめ(幹線分析シート 5. 今後の取組方針に対応)</div> <div>施策の取組主体別に今後の取組方針を整理</div> </div>						
運行事業者の取組						
沿線自治体の取組						
都道府県の取組						

終了後、まとめた内容について  
発表する

(発表時間：各グループ2分)

発表者はグループワーク開始  
前に決めておく